

令和7年度 秋田県南地域介護労働懇談会の開催 秋田支部

開催日時：10月31日(金曜日) 13:30 ~15:30

テーマ・議題

- ①介護現場における外国人の雇用について
- ②介護労働実態調査結果について
- ③関係機関による意見交換・情報共有
- ④その他

秋田労働局、大曲・角館・横手・湯沢各公共職業安定所、秋田県長寿社会課、仙北・平鹿・雄勝各地域振興局、六郷高校、湯沢翔北高校、仙北市・横手市・湯沢市、大曲仙北広域市町村圏組合、美郷町、羽後町、大仙市商工会、秋田県介護支援専門員協会(県南)大仙市・仙北市・湯沢市市・羽後町各社会福祉協議会、全国介護事業者連盟秋田支部、秋田県外国人材受入サポートセンター、介護労働安定センター秋田支部



主な内容等

- 1.介護現場における外国人の雇用について
 - 2.介護労働実態調査結果について
 - 3.関係機関による意見交換・情報共有
- 秋田県健康福祉部(長寿社会課)：介護業務改善推進事業、機器等の導入補助(約150事業所に交付決定)。処遇改善加算取得促進：介護労働安定センターと連携。訪問介護等の提供体制支援：登用支援・経営改善支援。若年層への広報・イベント連携(スポーツ会場での職業理解促進)。
- ハローワーク：集中充足対策(9~11月)：県内約30事業所を幹部職員が訪問支援。介護労働安定センターと連携。企業説明会・面談会・セミナーを各所で展開。
- 湯沢翔北高校・専攻科：実習先の人手不足により、受け入れ可能な人数が減少し、受け入れ自体が困難になっている。実習指導者の要件を満たすことが課題。求人票は就業場所特定の明確化を要望(法人一括記載で不安増大)。
- 六郷高校：卒業生の地元就職は高水準。直近の入試で介護福祉課応募ゼロの危機。募集定員割れが続き、介護科の魅力発信が喫緊課題。地域連携(コミュニティスクール)・職業体験の拡充。
- 羽後町：介護事業所でインドネシア人材受入。生活支援(自転車貸与、買い物同行)を実施。課題は日本語理解・クレーム対応。職員の仲介と支援で対応。子ども向け職業体験・ボランティアに介護体験を組み込み。
- 大仙市・横手市等：介護人材不足により事業継続への懸念。第9期介護保険計画策定に向け、事業所ニーズ調査で外国人受入・生活支援課題を把握し対応検討。受入事業者の知見・提言制度理解・信頼できる支援機関選定・他社見学による情報取得を起点にすること。受入までの時間と費用を前提に、即戦力期待ではなく教育計画・生活支援計画を準備。生活支援(住居・交通・冬季対応・災害時の情報提供)を定着の中心に据える。都市部への流出対策：処遇・キャリアパス・コミュニティ形成を強化。監査・指導の適正化：主観的・高圧的指導の抑止、必要時の法的対応。ハラスメント調査項目に「関係機関による不当な指導・対応」の観点追加を提案。
- 秋田労働局：介護の日前後、ハローワークにおいて企業説明会、面談会セミナーを開催。
- 介護老人保健施設連絡協議会：老健・特養・病院の赤字比率が高水準。物価高(3~10%)と最低賃金上昇で人件費増。外国人受入初期費用の捻出が困難化。
- 雇用管理コンサルタント(外国人担当)：・制度理解・信頼できる支援機関選定・他社見学による情報取得を起点にすること。・受入までの時間と費用を前提に、即戦力期待ではなく教育計画・生活支援計画を準備。・生活支援(住居・交通・冬季対応・災害時の情報提供)を定着の中心に据える。
- 介護労働安定センター：カスタマーハラスメント相談窓口設置(傾向として暴言・暴力は全国比低下、周知の効果)。合同就職面接会(11/14、28社予定)。生産性向上・ICT/介護ロボット導入(補助金活用)支援、職場定着促進

参加団体からのお知らせ・状況報告等

秋田県・労働局で市町村・事業主団体向け「賃上げ緊急支援事業」等のオンライン説明会(11/6)を開催する。下期に民間向け説明会も予定。詳細は雇用環境均等室へ。

事務局(介護労働安定センター 秋田支部)からコメント

お問い合わせは、TEL018-853-5177に御連絡ください。(公財)介護労働安定センター秋田支部